

フロンとライン

FUKUSHIMA FLON RECOVERY ASSOCIATION BULLETIN

会 報
LINE 09



一般社団法人
福島県フロン回収事業協会

2025年8月31日発行

発行：一般社団法人 福島県フロン回収事業協会 〒960-8162 福島市南町449番地

美しい地球を未来の子供たちに 漏らさず、逃がさず、回収しよう



(一社) 日本フロン回収事業協議会 会長

(一社) 静岡県フロン回収事業協会 会長

梅原 啓一

福島県フロン回収事業協会の皆様には、初めてお目にかかります。静岡の梅原と申します。30年の長きにわたり、日本フロン協会と静岡フロン協の両方を引っ張ってきていただいた鳥波前会長から、昨年の6月にバトンを受け取りました、初心者マークの会長です。

少しだけ自己紹介をさせていただきます。35年前の1990年に一人で会社を立ち上げ、現在は、静岡県三島本社と神奈川県厚木支店の2拠点で事業活動を行っております。社員40名で売上げ20億弱の新築工事が80%の設備工事会社です。新築工事が中心の会社の性格上、現在は、本来のフロン回収事業への貢献度が低く、少しでも出来るところから、貢献度を上げていければと思います。

さて、静岡県もご多分に漏れず、設備業界の人手不足、資材高騰、労働環境も厳しくなる中、今年2月に経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課オゾン層保護等推進室の室長が静岡県庁を訪問されました。回収フロンの破壊でなく、再生の量を増やしてほしいというご意向でした。群馬県さんは、回収したフロンの実に70%を再生しております。静岡県は、残念ながら、3%前後にすぎません。各県の事情もあり、条件も違うわけですが、2029年のギガリ改正の次の70%削減目標が間近にせまっています。どの顧客も皆、どんどん新しい機械に買い換えられる訳ではありません。既存の機械をできるだけ長く使って、運営していきたい方も沢山いらっしゃいます。機械が古くなれば、ガス漏れのリスクは、上がりますがそういう顧客のためにもフロンの再生処理をしてオーナーが困らないようにしてあげるのも我々の仕事です。きちんとガスの点検をして、もうしばらく再生化を進め、ストック量を増やす必要があります。

(一社) 日本フロン回収事業協議会の6県を代表する回収事業協会の皆さんの統一理念、「美しい地球を未来の子供たちに」を合言葉に共にしっかりと、他県の情報共有をしつつ、協力しあって、歩めればと考えます。(一社) 福島県フロン回収事業協会様には今後とも是非、ご指導、ご鞭撻を賜りたく、どうぞ宜しくお願いいたします。

結びに福島県フロン回収事業協会様のますますのご発展と、会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

第21回通常総会 を開催

2025.5.26(日).15時～

ホテル福島グリーンパレス

第21回通常総会がホテル福島グリーンパレスにおいて開催されました。冒頭、宇野会長は、本年度の当協会の総回収量は19.64tとなり前年比では90.6%と減少したが、昨年度より導入した再生事業では再生量が2.31tとなり前年より36.9%の増加があった事を報告しました。また、再生の割合が全体の11.8%に増加した事を報告した後、議案の審議に入り、いずれも原案通り全会一致で可決し承認されました。福島県では、2050年カーボンニュートラルロードマップに基づき、令和12年度までに機器廃棄時のフロン回収率75%を目標としています。協会は貴重なフロンの回収・破壊処理を推進し、再生事業にも注力し貴重なフロンの資源保護に努めて参り、今後も業界関係者や一般ユーザーへの啓発活動を強化し、フロン適正処理の推進に尽力して参る所存です。

総会第二部では、永年にわたりフロン回収事業にご尽力いただいた皆様が表彰されました。前会長の色摩啓司氏は平成15年より理事を歴任、平成28年より代表理事会長を4期8年務められ、特別功労感謝状を受章されました。また、優良会員事業所として福菱冷熱(株)の矢部浩樹氏、(株)東北テクノの古川広教氏、(有)武蔵プラントの色摩啓司氏が表彰を受けられました。長年のご貢献に深く感謝申し上げます。

総務広報委員 新妻良宗

団法人 福島県フロン回収事業協会 第21回通常総会



宇野会長挨拶



功労表彰を受け感謝を述べる色摩前会長



県・水大気環境課 清野課長様 祝辞

御来賓

福島県生活環境部 水・大気環境課 課長	清野 弘 様
(一社)宮城県フロン回収事業協会 代表理事会長	吉田 匡志 様
(一社)福島県冷凍空調設備工業会 理事長	笠 雅樹 様
(一社)日本冷凍空調設備工業連合会 事務局長	大沢 勉 様
福島県議会議員 当会顧問	西山 尚利 様
(株)空調タイムス社 代表取締役社長	杉本 英樹 様

効率的な回収技術の講習会

(令和6年)2024.11.16日 福島市 ウィル福島アクティ卸町(09:00~12:00)

●開催目的

改正フロン排出抑制法のポイント・フロンを取り巻く動向についての講義。今回で7回目となる効率的な回収技術の講習会では、効率の良い回収技術と最後まで漏らさずポンペに回収する技術を学んで頂くことを目的とする。

講師：アサダ株式会社仙台営業所 所長 上山 航 様

講師：福島県冷凍空調設備工業会 理事長 笠 雅樹 様

フロン回収事業協会員だけではなく、解体業界、産廃業界電気工事業界など様々な異業種の方に案内したところ前回より12名多い35名の参加を頂きました。

宇野会長の挨拶の後、笠理事長より日本国内のフロンガスの現況説明とキガリ改正に基き、国全体のHFCの生産量、消費量は段階的に削減する為、今後は回収破壊だけではなく、再生再利用を推進する必要性がある事の説明がありました。



宇野会長挨拶

●アサダ中村氏、上山氏による講習



第1章 【基礎的な回収技術】

基本的な設置例

第2章 【フロン再生について】

第3章 【回収作業時の事例紹介】

回収作業に使用する機器の実物展示・紹介注意事項の説明回収作業と、ホース内の残ガスの回収の実演



笠理事長によるフロンの現況説明

●実機を使った講習

回収用ポンペの安全装置の確認(ポンペを上下逆さまにしフロートSWの作動確認をする)

同時に回収機が満液感知して停止することを確認する(満液ランプの点灯)

効率的な回収(接続バルブのムシ抜き作業・流体抵抗の除去)

効率的な回収 外気温度に応じた回収の作業(ポンペに濡れタオルを被せて送風して冷やす等)

●参加者の感想



この度、管理センターとして参加させて頂きました。フロンガスの動向により、再生処理や、純度が99.8%以上を満たさないと破壊処理になってしまう事で、完了までに日数が掛かるなどセンター内で、再度周知しなければならないことが多々ありました。アサダ様からはムシを除去したホースの使用で、回収時間の短縮になる事など現場に携わっていない私も興味深く学べました。全体を通して改めて回収作業のご苦勞を知ることもでき、このような機会を頂きました事に大変感謝いたしております。ありがとうございました。

福島西管理センター(太陽産業内) 岡田 光

7回目となる効率的な回収技術の講習会ですが、近年フロン排出抑制法違反で令和3年と4年に摘発事案があり、令和4年の事案では、被疑者4名が東京地検立川支部へ書類送検されました。今後も協会会員並びに異業種の皆様にもこの講習会を通じて様々な情報を発信して参りたいと思います。ご参加ありがとうございました。

研修事業委員長 蓬田 剛

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 県内管理センター視察 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

令和7年2月26日と3月5日、宇野会長、銭谷事務局と柴田の3名で県内の管理センターの視察をしてまいりました。

2月26日に会津地区、いわき地区、相双地区、福島地区を視察。今年豪雪に見舞われた会津地区では1m位の残雪があり、会津地区管理センターでは倉庫の出入りができず材料置場の中に仮置きしてある状態でした。会津地区の視察を終えていわきに向かうと、いわき地区は打って変わって小春日和で、温かく別世界の様でした。いわき地区管理センターの視察を終え、浜通りを北上して相双地区の管理センターを回り、福島地区管理センターに着いたのは6時過ぎで、改めて福島県の広さを感じた1日でした。



会津地区



いわき地区



相双地区



福島地区

3月5日は雪が残る郡山地区の2箇所を視察。全体的に保管状況は整理整頓されていましたが、看板の未設置や夏の高湿対策、フロン協会の周知啓発活動などの改善点を確認し、宇野会長からは各管理センターへ、破壊から再生への周知と推奨をお願いしてまいりました。

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 管理センター会議の開催 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

3月14日福島市のコラッセふくしま12階ki-ichigoにて管理センター会議を開催いたしました。

業務上の改善点や夏場のボンベ保管の注意点、イエローカード携帯義務の確認、協会ボンベの貸出期間と料金の再確認や行程管理票の複写の文字が薄くなる問題などが話し合われました。

さらに、破壊処理から再生への推奨理由や推奨方法などが議題に上がり、忌憚のない活発な意見が飛び交いました。また、フロン回収事業協会の会員増強をはかる為、各管理センターに入会申込書を目立つところに置いてもらうため、ディスプレイと入会申込書を配りました。



郡山地区管理センター



郡山中央管理センター



令和6年度の管理センターは1度の開催に終わりましたが7年度は2回開催の予定です。管理センターの皆様どうぞよろしくお願いいたします。

事業委員長 柴田 和明

先進技術研修会の報告

(令和7年)2025.3.27

東京電力福島第一原子力発電所と中間貯蔵施設の現状視察

今回の先進技術研修は東日本大震災後14年が経過した、東京電力福島第一原子力発電所と新たに設けられた中間貯蔵情報センターと貯蔵施設の視察・見学です。フロンとはあまり関係のない内容ですが、福島県民の一人として現在の状況を知る事ができた研修となり、とても有意義な1日となりました。当日は県内各地から会員17名が参加、21世紀の森公園・いわきグリーンスタジアムの駐車場に集合し、9:30にチャーターしたバスに乗り換え視察研修がスタートしました。

最初の目的地は常磐富岡IC近くで、3月15日に完成したばかりの中間貯蔵情報センター及び中間貯蔵施設で10:20~約1時間の見学となりました。館内では貯蔵施設の説明があり、バーチャルシアターの映像やドローンの映像で体験、施設の全体像を見ることができて臨場感がありました。

また、これまでの環境再生事業の歩みと福島県の復興の歩みも年表、写真、映像で振り返り、環境再生に関わる人々の想いも紹介されていました。

この後、富岡町にある東京電力廃炉資料館に向かいます。廃炉資料館そばのさくらモールとみおかにて各自昼食をとり、13:30~廃炉資料館にて事前レクチャーを受け、見学用の作業衣に着替えて東電のバスに乗り第一原発に向かいました。バスの中では各自に線量計が渡され、線量計の向きを正面にして胸ポケットに入れての見学となりました。

バスは最初に既設の多核種除去装置(ALPS)の前を通り増設ALPSへ進み、高性能ALPSの前を進みながら海洋放出する際の説明を受け、ALPS処理水を海洋放出する際のトリチウム濃度の上限は1,500ベクレル/ℓ未満と定めていて、国の安全基準60,000ベクレル/ℓの40分の1、またWHOが定める飲料水ガイドライン10,000ベクレル/ℓのおよそ7分の1となるとの事で、実際に放出するときは200~300ベクレル/ℓまで希釈して放出しているとの事でした。

その後バスは原子炉建屋1号機~4号機のあるエリアへと向かいます。到着すると降車、周囲の放射線レベルは42.4μシーベルトを表示していましたが、人体には影響のある時間ではないとの事で全員がバスを降りて現在の状況説明を受け、実際に外で作業している方も見受けられました。



既設ALPS



1号機建屋前



42.4μSv/hの表示(建屋付近)

建屋は事故当時そのままに、むき出しになった鉄骨や吹き飛んだ屋根の上に仮設の屋根を被せてある状況を目のあたりにして、廃炉に向けての作業は大変で困難である事が伝わってきました。

線量が高く長時間の作業は出来ないで、何班にも分かれて作業をしているとの事でした。外部での見学は10分程度で、廃炉に向けた説明を受けバスに戻り入退域管理棟に向かいます。管理棟ではスクリーニングを受け、線量計も返却、各自の被ばく線量は 0.01μ シーベルトと意思のほか低く、少しびっくり致しました。

今回の研修では、事故から14年経過した今の現状を知る事ができ、廃炉に向け懸命に作業、研究されている方が多数おられる事と、まだまだ先の見えない廃炉に向けて取組んでいる方々の想いを知る事ができました。必ず最後まで廃炉を成し遂げて頂きたいと想う視察研修でした。



2号機建屋前



原子炉建屋前で記念撮影

総務委員 色摩啓司

事務局からのお知らせ (エコバックの製作)

昨年、法人化第20回記念総会のおり、懇親会に於いて特別ステージとして、お笑いコンビ「母心」の漫談公演をいただき大いに会場を盛り上げていただきました。その後も何かと連絡を取る機会があり、協会として会員の皆様にお使いいただける物は何かと考えていたところ「母心」の関様(おかんの相方)がイラストレーターとしても腕を奮っておられるとの事で、協会でもお願いしたいと思い「フロン回収」への啓蒙啓発を進めていく中で「エコバック」へのイラストをお願いして3月に出来上がりました。

「フロンの回収処理は地球温暖化対策への第一歩」のスローガンはSDGsの「気候変動に具体的な対策を」

にもつながります。是非ともご愛用いただき気候変動温暖化防止・フロンガスの適正処理にご理解をいただければ幸いです。

また、今後も「母心」さんとコラボできるものがあればお願いしたいと思っています。「母心」さんありがとうございました。何卒、フロン回収事業協会共々よろしくお願いいたします。

フロン回収事業協会
事務局 銭谷元文



母心も応援しています!



フロンの回収処理は
地球温暖化対策への第一歩

福島県フロン回収事業協会

第8回親善 ゴルフコンペ開催

福島県冷凍空調設備工業会との共催で第8回親善ゴルフコンペが3月28日小名浜カントリー倶楽部にて参加者15名、4パーティーで開催されました。

当日は晴天ではなく曇りでしたが、小名浜の風が程よく吹く中、楽しくゴルフができました。

前日も福島県冷凍空調設備工業会との共催で福島第一原子力発電所視察の研修、いわき市内での懇親会があり、連日を通して大いに親睦を深めることができました。

次回開催でも多数の参加を募り、ゴルフを通してフロン協会・工業会の会員同士の親睦も深められれば幸いです。皆様、奮ってご参加くださいますよう宜しくお願い致します。

総務広報委員 新妻良宗



▲参加者



▲見事優勝に輝いた(株)ネオテック種橋良美氏(右側)

第8回 親善ゴルフコンペ結果

👑 優勝 (株)ネオテック 種橋 良美氏

👑 準優勝 (株)いわき低温工業 門馬 英夫氏

👑 第3位 (株)ネオテック 大内 善作氏

新入会員のご紹介



郡山支部

株式会社柳田産業

代表取締役 柳田 栄喜氏

この度、縁があり貴福島県フロン回収事業協会に入会させていただきました。当社は郡山にて解体業・産廃処理業・リサイクル業の業務を行う会社です。入会を機に、フロンの回収・機器の処分を適切に行い、地球温暖化防止対策に取組み、皆様と一緒にSDGsに貢献して参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

福島県水・大気環境課からのお知らせ

日頃から、本県の環境行政への御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

昨年度に引き続き、福島県内で業務用冷凍空調機器から充填及び回収されたフロン類の量及び台数と、福島県に登録されているフロン類充填回収業者の登録者数の推移をお知らせします。

<充填量>

○令和5年度に充填されたフロン類は55,843kgで、前年度から12,145kg減少しました(図1)。

<回収量>

○令和5年度に回収されたフロン類は72,667kgで、前年度から8,805kg減少しました(図2)。

フロン類の回収量は全国的に増加しておりますが、県内においては令和5年度は減少しました。

○内訳としては、充填・回収共にHCFC(ハイドロクロロフルオロカーボン)の割合が減少し、代替フロンであるHFC(ハイドロフルオロカーボン)の割合が増加する傾向にあります。

<回収業者>

○県内におけるフロン類充填回収業者は年々増加しており、令和6年度の登録業者数は948件となり、前年度から県内業者が6件減少、県外業者が11件増加しました(図3)。

<回収率>

○機器廃棄時のフロン類回収率は、令和4年度で44%程度にとどまっています(表1)。

○令和12年度の目標75%を達成するため、引き続き皆様の御協力をいただきながら、機器の廃棄時の確実な回収について管理者等へ広く周知を図ってまいります。

図1 充填量及び充填台数の推移

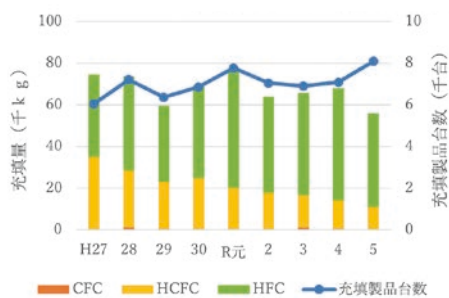


図2 回収量及び回収台数の推移



図3 フロン類充填回収業者の推移

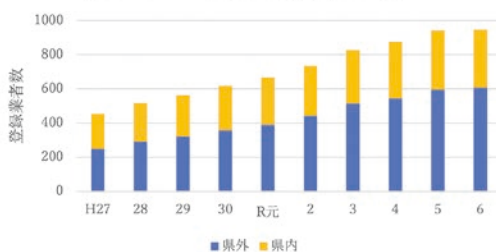


表1 機器廃棄時のフロン回収率(推計)

	県内	全国
平成29年度	36%	38%
平成30年度	34%	39%
令和元年度	38%	38%
令和2年度	43%	41%
令和3年度	43%	40%
令和4年度	45%	44%

正 会 員		
福 島 地 区		
福島西地区管理センター	太陽産業㈱福島営業所 内	☎024-557-5131
㈱ 光 和 設 備 工 業 所	〒960-8111 福島市五老内町2番12号	☎024-535-2318
㈱ 東 北 冷 暖 房	〒960-0116 福島市宮代字鳥ノ目25-6	☎024-553-3288
㈱ ナ ガ サ ワ	〒964-0876 二本松市正法寺町90番地1	☎0243-23-0331
㈱ フ タ ワ シ ス テ ム	〒960-8157 福島市蓬萊町八丁目10-31	☎024-549-1640
㈱ シ バ テ ッ ク	〒960-0111 福島市丸子漆方6-1	☎024-554-5322
㈱ 谷 川 産 業	〒960-2156 福島市荒井字愛宕原118	☎024-593-3917
文 化 設 備 工 業 ㈱	〒960-8055 福島市野田町五丁目5番6号	☎024-535-0166
㈱ 相 互 冷 熱 管 理	〒960-8154 福島市伏拝字山ノ入1-3	☎024-545-3120
㈱ 福 島 理 工	〒960-0231 福島市飯坂町平野字桜田17-1	☎024-541-3888
第 一 温 調 工 業 ㈱	〒960-0102 福島市鎌田字卸町15番地1	☎024-553-2100
大栄コールドチェーン㈱	〒960-8153 福島市黒岩字堂ノ後22-1	☎024-546-3370
㈱ 武 蔵 プ ラ ン ト	〒960-8254 福島市南沢又小塚19番地の1	☎024-558-8121
㈱ サ ー モ 電 機 工 業	〒960-8254 福島市南沢又南館115	☎024-557-7860
恵 和 興 業 ㈱	〒960-2156 福島市荒井字北一の坂3-1	☎024-593-1451
テクノエンジニアリング㈱	〒960-8166 福島市仁井田字石塚52-1	☎024-544-1440
㈱ 東 北 テ ク ノ	〒960-8164 福島市八木田字神明67の5	☎024-539-8115
㈱ 東 北 日 立 福 島 営 業 所	〒960-8116 福島市春日町14-33	☎024-535-3291
㈱ ネ オ テ ッ ク	〒969-1512 二本松市上川崎字三ツ石80	☎0243-24-8841
福 島 機 工 ㈱	〒960-8252 福島市御山字稻荷田31-4	☎024-533-9625
㈱ 丹 治 機 械	〒960-1241 福島市松川町金沢字三合内31	☎024-567-6402
㈱ 三 水 機 工	〒960-8066 福島市矢剱町1番36号	☎024-535-0915
㈱ ア ラ イ ブ	〒960-0684 伊達市保原町上保原字久シ原40-1	☎024-574-2888
清 水 冷 熱	〒960-0241 福島市笹谷字三本松29-20	☎024-558-3124
ワ タ ナ ベ テ ク ノ	〒960-1243 福島市松川町水原字上台8-1	☎024-567-6680
草 野 空 調	〒960-8251 福島市北沢又字欠ヶ2-34	☎024-558-0104
㈱ コ ネ ク ト ワ ン	〒960-0116 福島市宮代字小袋坂42-1	☎024-573-5559
㈱ 橋 脇 商 店	〒960-1103 福島市平石字新田85番地の1	☎024-546-1830
安 達 冷 機 ㈱	〒969-1403 二本松市渋川字後座内65	☎0243-53-2817
山 川 空 調 サ ー ビ ス	〒960-8166 福島市仁井田字竹ノ花24-1	☎024-502-7552
齋 藤 電 建 工 業 ㈱	〒960-0612 伊達市保原町宮下43番地	☎024-575-3194
豊富エコマネジメント㈱	〒960-0102 福島市鎌田字樋口3番地の2	☎024-553-3714
㈱ プ ラ ン パ ー	〒960-8153 福島市黒岩字八郎内27-1	☎024-573-5397
太陽産業㈱ 福島営業所	〒960-0241 福島市笹谷字出水田8の1	☎024-557-5131
国 分 金 属 ㈱	〒960-8153 福島市黒岩字浅井67番地の1	☎024-544-7133
㈱ フ ル エ コ ノ ス	〒960-8152 福島市鳥谷野字梅ノ木内33-1	☎024-529-6914
㈱ 二 階 堂 電 気 工 事 店	〒969-1404 二本松市油井字葉師堂143	☎0243-22-2110
㈱ 新 成 建 設	〒960-0231 福島市飯坂町平野字道添20-2	☎024-542-7091
㈱ 齋 井	〒960-8162 福島市南町211番地	☎024-546-1134
㈱ テ ィ ー エ ス 産 業	〒969-1771 伊達郡国見町山崎字柴崎1番地3	☎024-572-7644
コ バ ッ ク ス ㈱	〒960-8152 福島市鳥谷野字扇田29-1	☎024-573-0181
高 橋 冷 研	〒960-0111 福島市丸子字中川原10-19	☎024-554-0786
い わ き 地 区		
いわき地区管理センター	㈱いわき低温工業 内	☎0246-52-1250
大 野 冷 凍 工 業 ㈱	〒973-8403 いわき市内郷高坂町大町84-4	☎0246-26-1343
北 関 東 空 調 工 業 ㈱	〒970-8026 いわき市平字柳町3番地	☎0246-25-7111
㈱ 川 田 冷 凍 サ ー ビ ス	〒971-8101 いわき市小名浜字芳浜2番地の13	☎0246-54-2120
㈱ い わ き エ ア コ ン	〒970-0112 いわき市平泉崎字砂田48	☎0246-34-7513
㈱ 空 調 設 備 サ ー ビ ス	〒972-8334 いわき市渡辺町田部字初田6-10	☎0246-56-2234
㈱ 橋 本 空 調	〒970-8044 いわき市中央台飯野二丁目30-3	☎0246-28-4595
㈱ い わ き 低 温 工 業	〒971-8151 いわき市小名浜岡小名字馬上前7番地1	☎0246-52-1250
㈱ 吉 田 鉄 工 所	〒979-0406 双葉郡広野町大字上浅見川字桜田57-3	☎0240-27-3241
双 葉 設 備 工 業 ㈱	〒979-0402 双葉郡広野町大字下北迫字岩沢31-72	☎0240-27-1253
アイエム冷熱工業㈱	〒972-8334 いわき市渡辺町田部字仲ノ町27番地の1	☎0246-38-6138
㈱ サ ン ケ ン	〒972-0161 いわき市遠野町上遠野字若宮84-35	☎0246-74-1105
郡 山 地 区		
郡山地区管理センター	富士冷熱機器㈱ 内	☎024-946-2200
郡山中央管理センター	㈱力バス 内	☎024-983-8214
大洋テクニカ㈱郡山支店	〒963-0547 郡山市喜久田町卸一丁目40番地1	☎024-959-6277
作 田 電 機 ㈱	〒963-0547 郡山市喜久田町卸1丁目36番地1	☎024-959-6211
㈱オートデンソーマルヤマ	〒963-0111 郡山市南二丁目58番地	☎024-945-5388
共 同 設 備 工 業 ㈱	〒963-0725 郡山市田村町金屋字新家144-1(郡山中央工業団地)	☎024-941-1075
大 成 空 調 工 業 ㈱	〒963-8841 郡山市字山崎408番地10	☎024-923-0371
㈱ 東 邦 シ ス テ ム	〒963-8846 郡山市久留米5丁目178-2	☎024-946-3336
アズビル金門エンジニアリング㈱東北支社	〒963-8876 郡山市麓山二丁目13番11号	☎024-936-4456
㈱エス・ケー・テクニカ	〒963-8041 郡山市喜田町字下亀田1番地の23	☎024-922-1080
㈱ 冷 暖	〒963-0201 郡山市大槻町字北八耕地14番1	☎024-951-4233
富 士 冷 熱 機 器 ㈱	〒963-0117 郡山市安積荒井二丁目261番地	☎024-946-2200
福 菱 冷 熱 ㈱	〒963-8044 郡山市備前館一丁目58番	☎024-923-2548
㈱ エ ア ー テ ッ ク	〒963-0205 郡山市堤3丁目73番地	☎024-952-6526
㈱冷凍技術工業所郡山営業所	〒963-8014 郡山市虎丸町17-19	☎024-932-6128
㈱ 石 井 実 業	〒963-8033 郡山市亀田一丁目55番8号	☎024-934-6660
㈱ 日 設	〒963-0102 郡山市安積町笹川字北向97-1	☎024-946-5388
㈱ 三 森 電 機	〒963-6103 東白郡棚倉町大字逆川字前山1-27	☎0247-33-0020
㈱ 釜 屋	〒962-0001 須賀川市森宿字安積田1-1	☎0248-75-1100
㈱ 丸 三 商 店	〒969-0404 若 瀨郡鏡石町旭町372	☎0248-62-3047
㈱ 小 針 電 気 工 業 所	〒969-0263 西白河郡吹矢町根宿138	☎0248-43-2224
㈱ カ パ ス	〒963-0205 郡山市堤3-141	☎024-983-8214
東 冷 機 工 業 ㈱	〒963-8846 郡山市久留米6-61-1	☎024-945-5472
㈱ 長 谷 川 環 境 熱 学	〒962-0001 須賀川市森宿字安積田177-27	☎0248-72-7011
㈱ テ ィ ー エ ス 冷 機	〒963-0201 郡山市大槻町字人形垣東72-25	☎024-952-6243
富士エンジニアリング㈱	〒963-0531 郡山市日和田町高倉字高森1-17	☎024-958-5330
回 天 物 産 ㈱	〒963-8061 郡山市富久山町福原字陣場110-1	☎024-942-1121
㈱ あ す な ろ 電 設	〒961-0102 西白河郡中島村滑津字大池向南8-28	☎0248-43-2288
㈱ 柳 田 産 業	〒963-0212 郡山市蓬瀬町河内字町東188	☎024-957-3146
会 津 地 区		
会津地区管理センター	㈱村山鉄工所 内	☎0242-27-1351
㈱ 村 山 鉄 工 所	〒965-0866 会津若松市新横町1番43号	☎0242-27-1351
会 津 冷 熱 ㈱	〒965-0052 会津若松市町北町大字始字深町91番2号	☎0242-25-1953
星 冷 暖 設 備 工 業 所	〒965-0056 会津若松市金川町6-15	☎0242-24-4195
ハ ッ 橋 設 備 ㈱	〒965-0008 会津若松市松町2番3号	☎0242-27-3925
㈱ 福 島 空 調 シ ス テ ム	〒965-0102 会津若松市真宮新町北三丁目20番地1	☎0242-93-6263
相 双 地 区		
相双地区管理センター	伊藤冷機工業㈱ 内	☎0244-22-0101
伊 藤 冷 機 工 業 ㈱	〒975-0021 南相馬市原町区金沢字堤上138番地の1	☎0244-22-0101
㈱ 新 妻 空 調 サ ー ビ ス	〒975-0062 南相馬市原町区本陣前2丁目26-7	☎0244-25-0877
㈱ 東 洋 空 調 工 事	〒975-0038 南相馬市原町区日の出町208の1	☎0244-23-5027
㈱ 高 良	〒975-0007 南相馬市原町区南町一丁目93	☎0244-22-7111
㈱エーアールエーサービス	〒979-2501 相馬市磯部字台畑13番地2	☎0244-33-5700
第 三 種 正 会 員		
㈱ ク レ ハ 環 境	〒974-8232 いわき市錦町四反田30番地	☎0246-63-1231
(一社)福島県空調衛生工業事業協会	〒960-8021 福島市霞町9番23号	☎024-526-2036
日曹金属化学㈱会津工場	〒969-3301 耶麻郡磐梯町大字磐梯1372	☎0242-73-2121
㈱ ク リ エ イ ト	〒349-1123 埼玉県久米市間鐘314-1	☎0480-52-7831
賛 助 会 員		
東 テ ク ㈱ 郡 山 営 業 所	〒963-0107 郡山市安積町三丁目361	☎024-946-7541